

8月  
**30日**  
(日)

## コロナ禍での総合防災訓練 (中央公園)



南海トラフを震源とする大規模な地震が発生し、市の震度は6弱を示したとの想定の下、市総合防災訓練を行いました。今年度はコロナ禍のため、感染防止を踏まえて、春日井警察署や自衛隊など一部の防災関係機関の参加に留め、約300人で訓練を実施。例年の訓練に加え、災害医療救護では、感染の可能性がある人を想定した処置や、避

難所運営では、受け付けで体表面の温度測定や手指の消毒を依頼するなど、感染予防を踏まえた訓練を実施した他、ドローンを用いて被害状況の情報収集を行うなどの新たな試みも行われました。  
市と防災関係機関それぞれが役割を理解し、相互協力体制を確認する有意義な訓練となりました。

9月の第5回市議会定例会において、新型コロナウイルス感染症対策として、4月、6月に続いて、第3弾となる支援策の補正予算を提案いたしました。今回は、中小企業の皆さんがコロナを乗り越え、設備投資される事業や感染防止のための環境整備への支援、子どもたちが家庭学習の際の通信機器の整備、また残念ながら小中学校の修学旅行が中止となった場合のキャンセル料を市が負担することなど、それぞれの立場で、お互いに助け合い、一体となってコロナと闘うという意味合いの強い内容となっております。

今年、地域の盆踊りやお祭り、芸能発表会などほとんどの行事が感染防止を図ることが難しいことから中止となっております。一方で、このような時だからこそコミュニティが大切だ、との思いから地域の役員さんの努力と工夫に

## 春日井 創想



より、高齢者サロンや3世代交流事業、公園の清掃などの行事の内容を変えたり、参加人数を分散するなどして行われています。例えば私の町内では、敬老会は従来、観劇や食事へご招待していましたが、今回はお祝いのお菓子をお届けすることにしました。

新型コロナウイルス感染症との闘いは、長期間になると思われます。また誰もが感染する可能性があります。また誰もが、感染者やその家族、医療などに携わっていただいている方々が差別的な扱いを受けるなどの事例が全国で見受けられます。

コロナに関して「正しく恐れる」という記事がありました。正しい情報に基づいた行動を心掛け、お互いに助け合い、そして地域のコミュニティを大切にしたいと思っています。